

2025/3/10 (月)

朝の礼拝

聖書 ルカによる福音書 10章 38-42節 (新約聖書 125頁)

さて、一行が旅を続けているうちに、イエスはある村に入られた。すると、マルタと言う女が、イエスを家に迎え入れた。彼女にはマリアと言う姉妹がいた。マリアは主の足元に座って、その話を聞いていた。マルタは、いろいろともてなしのために忙しくしていたが、そばに立って言った。「主よ、姉妹は私だけにおもてなしをさせていますが、何ともお思いになりませんか。手伝ってくれるようにおっしゃってください。」主はお答えになった。「マルタ、マルタ、あなたはいろいろなことに気を遣い、思い煩っている。しかし、必要なことは一つだけである。マリアは良いほうを選んだ。それを取り上げてはならない。」

### 必要なことは

マルタとマリアという姉妹の住む村へ、イエスと弟子たちがやってきました。姉のマルタはイエスを家に迎え入れて、おもてなしの準備を始めました。ところが妹のマリアはイエスの足もとに座って、イエスの話を聞くだけで姉のマルタを手伝いませんでした。

そもそもこの話、当時はどんなに立派な先生だとしても、女性が男性を家に招き入れるのはあり得ない話でした。さらに先生の足元で話を聞くというのは男性社会の師弟関係の話で、マリアのように女性が男性の先生の足元に座って話を聞くなど考えられませんでした。

そうした時代を考えると、このマルタとマリアのお話は当時では常識破りの出来事です。でも私たちから見てもマルタの言い分はもつともだと思いませんか。マルタが気の毒ですし、彼女の方が正しいと思いますね。そういう意味では現代の私たちもマルタと同じなのではないでしょうか。

なぜイエスはマルタの招きを断らなかつたのでしょうか。なぜマリアが足元で話を聞くのを許したのでしょうか。イエスの言動はとても挑戦的です。さらに「しかし、必要なことは一つだけである。マリアは良いほうを選んだ」とまで、なぜそこまで言ったのでしょうか。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、なぜあなたはマルタにひと言いたわりの言葉をかけられなかつたのですか、マルタも話を聞きたかつたのではないですか。しかしあなたはマルタがいろいろなことに気を遣い、思い煩った時に「必要なことは一つだけである」と言われました。どうか私たちが祈り求める時、私にとって、私たちにとって、今、最も大切で、必要なことを教えてください。今日一日も、すべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン